

平成 30 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト 1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う、重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト

1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区における水質調査を、平成 20 年度から実施している。

平成 30 年度も引き続き、拝志川流域の 5 地点(河川 4、ため池 1)で 4 月 23 日、6 月 19 日、8 月 27 日、10 月 22 日、12 月 19 日、翌 2 月 25 日の計 6 回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

平成 30 年度モニタリングサイト 1000 里地調査(水質調査)結果

調査項目	4 月	6 月	8 月	10 月	12 月	2 月
水温(℃)	15.1	17.0	21.6	13.4	8.3	8.9
	20.3	23.1	30.3	18.4	8.1	9.6
水位(cm)	16.3	14.0	17.8	24.5	26.3	23.0
	760	760	760	760	760	760
水色	—	—	—	—	—	—
	15	13	17	16	17	16
透明度	76.3	96.3	96.8	100.0	100.0	100.0
	91.0	100.0	100.0	61.0	98.0	100.0
pH	7.2	7.2	7.3	7.2	7.3	7.3
	7.6	7.2	7.4	6.8	6.8	7.0

※上段は河川 4 地点の平均値、下段はため池 1 地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト 1000 里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

平成 30 年度特定外来種等対応状況

生物多様性センター

第 2 次生物多様性えひめ戦略に基づき、外来種対策の推進を図っている。平成 30 年度は市町担当課や一般県民から哺乳類・鳥類 12 件、爬虫・両生類 11 件、昆虫・クモ類 27 件、植物 2 件の情報提供があり対応を行った。

センターへの外来種情報提供数

	哺乳類・鳥類	爬虫・両生類	昆虫・クモ類	植物
東予	2	2	9	0
中予	7	8	12	1
南予	3	1	6	1
計	12	11	27	2

アライグマは、市町担当から情報提供のあった写真でアライグマと同定されたものについては情報提供者等の同意のあったものについて箱わなの設置を行った。ゴケグモ類とヒアリ類は写真若しくは捕殺個体の持ち込みによって同定を行い、本種と同定されたものは周辺環境調査を行った。今治市のカミツキガメに関しては継続的な捕獲調査を実施した。

1. アライグマ

9 件の情報提供があり、松山市 2 件、松前町 1 件は本種と同定されたが捕獲には至っていない。新居浜市で 1 頭捕獲された。

2. ゴケグモ類(セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ)

7 件の情報提供があり、松山市の 2 件はセアカゴケグモであった。

3. ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ)

20 件の情報提供があった。新居浜市でアカカミアリ 1 頭が確認され、1 回/月の頻度で誘引餌トラップによるモニタリング調査を実施している。

4. 外来カメ類

今治市伯方島でカミツキガメ目撃情報が複数あったことから、今治市、とべ動物園と合同で捕獲調査を実施した。平成 30 年度は 9 頭のカミツキガメを捕獲し、うち 3 頭は幼体であった。